

平成28年度災害拠点病院 医療救護要員研修会

H28.10.2

岡山医療センター（当番）

目的

災害拠点病院としての責務に鑑み、日頃から各種災害に対処できるよう、組織の充実強化並びに資機材の整備等を図り、災害救護体制を整えておくこと。
そのため、非常災害時における医療救護活動を迅速かつ的確に行い拠点病院同士が一体となり、救護員の訓練・研修を行う。特に災害救護の基本研修を繰り返し開催し、必要な知識・技術を修得し、災害医療活動の円滑な推進を図るため救護員の底辺を拡大し、救護員同士の協力と協調性を養うことを目的とする。

参加機関

参加機関

1)岡山県災害拠点病院

総合病院岡山赤十字病院、岡山済生会総合病院、岡山大学病院
岡山市立市民病院、川崎医科大学附属病院、倉敷中央病院、高梁中央病院
総合病院落合病院、津山中央病院、国立病院機構岡山医療センター

2)その他関係機関

岡山県、各保健所、防災機関等

研修内容

【研修1】講演

演題：「改めて、阪神・淡路大震災以降に

おけるわが国の災害医療対応の進歩と課題」

講師：兵庫県災害医療センター センター長 中山 伸一 先生

【研修2】講義：救護所について

実習：救護所 机上訓練

【研修3】実習：岡山市消防局による人命救助（デモンストレーション）

実技：救護所訓練



研修風景



救護所訓練組織図

災害医療本部

消防指揮本部

合同現地指揮所

現場指揮所
(INST)

消防現場指揮所
(岡山市消防局)

救護所 ①

Aグループ

救護所 ②

Bグループ

救護所 ③

Cグループ